

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリュース)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 「投資行動とパフォーマンス」で運用状況をチェック!
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P4 「今月のピック!」ではアナリストの視点をご紹介します



「NISAと長期投資」

いよいよNISA(ニーサ:少額投資非課税制度)がスタートしました。

メディアの報道によると2013年末で約475万件のNISA口座が開設され、今年に入ってから順調に増加しているとのこと、これはアベノミクスによる円安・株高などの効果が後押ししたとはいえ、当初の予想を上回るスタートになったのではないのでしょうか。ただ、今年に入ってからセミナーでも、NISA口座は申し込んだが詳細は知らない、という方が多いのが現状で、制度が浸透するにはもう少し時間が必要です。一方で、業界や利用者から、同制度の改善点が指摘されていますが、金融庁の平成26年度の税制改正要望でも利便性向上・手続簡素化が重点項目にあげられていて、今後、実績に伴い徐々に改善されていくことでしょう。

さて、器が出来ても肝心なのは中身です。NISAの導入の背景には、若い世代をはじめとする多くの人々に、将来に向けた資産形成に取り組んでもらいたいという期待があります。NISAのモデルとなった英国では、投資信託の平均保有年限が通常の口座では4年程度ですが、ISA口座では6年を超えるそうです(出所:日本証券業協会など)。一方で、我が国では、通常の特定口座での保有年限は2年弱まで下がり、ファンドの平均寿命も5年強と、本来の投資信託の良さが全

渋澤と伊井の「今月の想い」

く活かされていません。

NISAのスタートに加え、我が国のこうした投資信託の現状も鑑み、長期投資が注目され始めています。勿論、市場は多様性が大切ですから短期投資も長期投資も必要ですが、日本の場合は、欧米に比べて長期投資が不足しているようです。一部のゲームなどの業界を除けば、企業が価値創造をするためには、数カ月や1年では難しいはずです。少なくとも数年単位、中には10年を超える企業もあるでしょう。株価は短期の企業業績とは連動しませんが、長期的に高まる企業業績と長期の株価は連動性が高いことが知られます。

こうした企業価値の時間軸を考えれば、短期の投資は「価格」を追いかける投資、長期の投資は「価値」を追求する投資であることが分かります。

2014年も既に1カ月が経過しましたが、NISAがスタートしたことで、多くの方が「価格」から「価値」に視点を変えるようになれば日本の株式市場にも日本の企業にも変化が起きるのではないのでしょうか。年初からの変動が大きな相場を見るにつけ、一層、そうした想いが強くなります。

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長
伊井哲朗



※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移



ファンドのデータ

（2014年1月31日付）

基準価額	18,202円
純資産総額	4,102百万円
受益権総口数	2,254百万口

※純資産総額のグラフは6ページ参照

基準価額（税引前分配金を再投資したものとして算出）の騰落率

（2014年1月31日付）

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-2.46%	1.65%	6.62%	25.28%	42.07%	89.78%

直近5期分の分配実績

第1期 (2010年1月18日)	第2期 (2011年1月18日)	第3期 (2012年1月18日)	第4期 (2013年1月18日)	第5期 (2014年1月18日)
120円	130円	0円	200円	200円

投資行動とパフォーマンス

◎1月の組入れ銘柄（組入れ銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無）

1月末の組入れ銘柄は、前月比変わらずの29銘柄となりました。「投資委員会（議長：CIO）」において、運用部（糸島・上野）は、引き続き、新規買付候補1社、全売却候補4社を提案しましたが、継続審議となっています。

◎1月のポートフォリオの構成比（株式組入比率）

1月末の株式組入比率は83.0%と前月末（12月末77.1%）に対して5.9%ウェイトを上げました。残り17%はキャッシュを持っています。昨年末、地政学的リスクから中国エクスポージャーが高い数銘柄を一部売却、同比率を77%まで引き下げていました。1月に入り、新興国経済への不安等による株価下落局面で株式ウェイトを引き上げました。具体的には、日経平均が15000円割れした1月27日に株式組入比率を79%から85%まで引き上げています。

◎1月の組入上位10社と投資行動

新規にトップ10に入った銘柄は、「堀場製作所」、「クボタ」の2社です。圏外になった銘柄は、「信越化学」、「ローソン」の2社です。地政学的リスクの高まりにより一部売却していた5銘柄のうち、「クボタ」はマーケットの下落局面で買い戻しました。「堀場製作所」は積極的に買い増しました。

◎1月のファンド月間リターンと個別銘柄の騰落率

1月のファンド月間リターンは2.46%の下落となりました。当ファンドにはベンチマーク（比較指標）はありませんが、同月のTOPIXは6.27%下落しています。ファンドの月間リターンがTOPIXに比べ小幅下落に留まったのは、①「楽天」、「エア・ウォーター」、「カカクコム」、「堀場製作所」、「日東電工」等が前月比上昇したこと、②一部キャッシュを持っていたこと、などによるものです。

◎運用・調査体制について

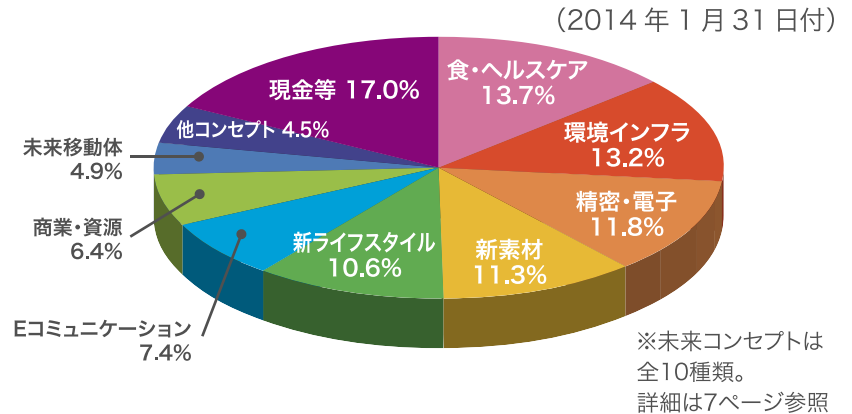
是非、7ページ目をご参照下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	83.0%	+5.9%
現金等	17.0%	-5.9%
構成銘柄	29社	±0社

未来コンセプト別構成比



組入上位10社

(2014年1月31日付)

企業名 [コード]	未来コンセプト	概要
楽天 [4755]	Eコミュニケーション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っています。
ホンダ [7267]	未来移動体	お客さまに自動車のみならず、夢の詰まったモビリティ(移動体)を適正価格で提供します。歴史的に難局に強く、創業から脈々と流れるチャレンジ精神で、持続可能な成長を遂げています。
味の素 [2802]	食・ヘルスケア	日本の昆布だしから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。
カカコム [2371]	Eコミュニケーション	価格.com(家電比較サイト)、食べログ(レストラン口コミサイト)など、利用者3,000万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、旅行、不動産、映画など、新規領域での事業開発が期待されます。
堀場製作所 [6856]	精密・電子	創業者経営哲学「おもしろおかしく」を継承し、国際展開、自動車用から科学(研究)用、半導体用、現在の医療用まで、時代に応じて事業分野を拡大中です。ニッチ市場で高いシェアを誇り、事業分散と地域分散を組み合わせたマトリックス経営をしています。買収・提携も巧みです。
クボタ [6326]	環境インフラ	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
丸紅 [8002]	商業・資源	相対的に資源比率が低いことが特徴の一つです。バリューチェーンを構築し、景気の影響を受けにくいトレーディングなど、安定した収益体制を確立しています。特に、食料(穀物)、電力(新興国での発電)などの事業領域に強みを持っています。
三菱商事 [8058]	商業・資源	地球規模の視点で、事業(非金融)と投資(金融)を組み合わせという世界でも稀な事業モデルです。三菱三綱領をベースに、長期持続的成長を意識した経営を志向しています。引き続き世界経済の成長を享受して、成長を続けるとしています。
久光製薬 [4530]	食・ヘルスケア	患者や医師の声をよく聴き、主力製品モーラステープは発売後数十回にわたり改良を重ねるなど、継続的改善の文化を持っています。貼付剤は経口剤にない利便性や効用が認められ、鎮痛剤から他の治療薬に広がると考えられています。
旭化成 [3407]	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。

新規組入投資先

なし。

今月のピックアップ！

株式市場では2014年3月期第3四半期(4-12月)の決算発表が始まっていますが、コモンズ30銘柄の決算動向を追ってみたいと思います。

2月3日現在で11銘柄が発表となっています。このなかで通期の営業利益計画を、3銘柄(マキタ、資生堂、日東電工)が上方修正、6銘柄(信越化学工業、コマツ、東京エレクトロン、ホンダ、味の素、ユニチャーム)が据え置き、2銘柄(ヤマトHD、エーザイ)が下方修正しました。

決算発表と同時に、ヤマトHDは自己株式の取得および消却、ユニチャームは自己株式の取得、日東電工は社長交代(柳楽幸雄 代表取締役・取締役社長CEO&COOが4月1日付で代表取締役・取締役会長に異動)、エーザイは希望退職の応募人数が396人に達したこと、などを明らかにしています。

社長交代や人員削減などは、コモンズが重視する5つの軸がぶれる要因になることがあります。日東電工やエーザイについて、5つの軸のなかの「マネジメント」、「企業文化」などにぶれが出てこないかを、コモンズでは、注意して見ていきたいと思っています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

投資先の主なニュース

日付	銘柄名	ニュース
1月28日	ホンダ	自動車インターネットに常時接続する「スマートカー」や関連サービスの市場が急拡大してきました。車とネットの融合をにらみ、米グーグルはホンダや米ゼネラル・モーターズなどと提携しました。ネット接続機能は自動運転技術に活用できるほか、車が集めるデータを使った新ビジネスの立ち上げにもつながります。世界で10億台が走るクルマの「頭脳」を巡り、自動車、IT両業界のせめぎ合いが始まりました。
1月28日	資生堂	上場企業の間で女性の活用への取り組みが広がってきました。日本経済新聞社が管理職への登用や育児休暇の取りやすさなどに着目して女性の働きやすさを調べたところ、資生堂や新生銀行など、女性の潜在力を生かす取り組みを続ける企業への評価が高くなりました。
1月30日	東京エレクトロン	東京エレクトロンは太陽電池の製造装置事業から撤退する方針を固めました。新規の技術開発をやめ、今後2～3年間かけて事業を縮小します。太陽電池は中国勢の供給過剰で価格低下が続く、製造装置の需要も当面低迷が続くと判断しました。不採算の同事業から撤退、今秋に経営統合を予定する米アプライドマテリアルズと主力である半導体の製造装置事業に集中します。
1月30日	コマツ	コマツは29日、米ゼネラル・エレクトリックと鉱山機械を共同開発する合併会社を米国に設立すると発表しました。地中を掘り進んで石炭などの鉱物を採掘する機械が対象となります。コマツが持つ掘削技術や運行管理など鉱山機械で培ったノウハウと、GEの電力やバッテリー技術を融合させ、生産性と安全性の両面で高い競争力を持つ機種を開発を目指します。
1月31日	ユニ・チャーム	ユニ・チャームは2014年3月期中に過去最大の110億円超の自社株買いを実施する方針です。自社株買いをするのは1年ぶりです。今期は成長投資を優先し自社株買いを見送る方針でしたが、アジア事業の好調で手元資金に余力が出たため、株主還元を強化します。
1月31日	三菱商事	三菱商事はフィリピンで15年ぶりに発電所建設に取り組みます。30日、比南部のミンダナオ島で石炭火力発電所のプラント建設を約300億円で受注しました。フィリピンは経済成長率が約7%とASEANトップですが、電力供給が追いついていません。三菱商事は旺盛な需要があると判断、プラントの受注だけでなく、IPP(独立系発電事業者)も強化する方針です。

メディアに登場！

日付	掲載メディア	ニュース
1月11日	テレビ東京	「マネーの羅針盤」に糸島がコメンテーターとして出演しました。
1月17日	日経新聞朝刊	「わかる財務 見えざる資産の素顔⑥」で、コモンズ流「見えざる資産」に基づいた投資先選定基準に関する伊井の話が紹介されました。
1月21日～23日	日経CNBC	「ラップトゥデイ」に糸島がコメンテーターとして出演しました。
1月23日	日経新聞 (名古屋支社版)朝刊	2013「中部地区個人投資家向け会社説明会」における渋澤の基調講演「投資においては「時間＝資源」です」が掲載されました。
1月25日	朝日新聞朝刊	「注目の独立系運用会社 斬新なアイデアや思いで勝負」でコモンズ投信が紹介されました。



テレビ東京「マネーの羅針盤」に出演した際の運用部長・糸島と塩田アナウンサー

今月のSEEDCap情報「社会を良くする活動と一緒に応援しましょう！」



今回の SEEDCap コーナーでは、今年度の応援先である吉岡マコさんの NPO 法人マドレボニータの『産後のボディケア&フィットネス教室』をご紹介します。出産という大仕事を終えた女性は心身共にとてもアンバランスな状態に。しかし産後ケアは赤ちゃんに一点集中していき、そんな女性たちの不安はそのまま置き去りになりがちなのが、今の日本。

全国で活動する同教室は、産後女性に心身を整える機会を提供しています。出産でダメージを受けた体をリハビリすべく、バランスボールを使いながら産後のデリケートな骨盤に配慮しながら、座ったまま体全体を鍛えることができるとても有効なエクササイズを展開。そして、後半には、言葉のワークショップも。自分の将来のビジョンを整理して、それを夫や、両親という家族のパートナーに、仕事のパートナーに、理解してもらうためには、有効なコミュニケーション能力も鍛える必要があります。マドレボニータの産後教室は、女性たちに癒しと活力を与えるだけでなく、「将来の為に自分自身を鍛える」覚悟ももたせてくれる場でもあります。詳しくはサイトを是非ご覧ください。

http://www.madrebonita.com/wordpress/?page_id=106

セミナーでコモンズを体験しませんか！？

セミナー名	日付	時間	場所
はじめてのコモンズ(主に中級者向け)	2月5日(水)	19:00～21:00	コモンズ投信オフィス
「コモンズ30ファンド」と新ファンド「ザ・2020ビジョン」セミナー	2月6日(木)	18:00～20:00	宮城県仙台市
草食投資隊のタベ	2月13日(木)	19:30～21:30	東京都港区
コモンズくつろぎバー	2月19日(水)	18:00～20:00	コモンズ投信オフィス
はじめてのコモンズ(主に初級者向け)	2月22日(土)	14:00～16:00	コモンズ投信オフィス
新ファンド「ザ・2020ビジョン」セミナー	2月26日(水)	19:00～21:00	東京都中央区
30塾 コモンズ30ファンド投資先企業から学ぶ 第2回「女性の活躍セミナー」	3月12日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターからお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/schedule> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

■ 今月のコモンズは！

時間の経過は早いもので、年が明けたかと思ったのも束の間、あっという間に1月が終わってしまいました。

1月は下旬に市場の値動きが激しくなりました。新聞等では、それまでは市場関係者の強気コメントが多数派だったのが、一転して弱気コメントに支配されるようになりました。

そんな中、コモンズは様々なメディアに取り上げられました。キーワードは「長期投資」「積立投資」「見えない資産」。足下は価格の動きが激しく不安を感じやすい環境ですが、こんな時こそ、「長期投資」「積立投資」「見えない資産を含めた真の企業価値の評価」に対する信念を強く持ち、軸をブラさず、じっくりと資産形成に取り組むべきと考えます。

2月のセミナーですが、「はじめてのコモンズ」を初級者編と中級者編に分けました。また、「コモンズ30」の弟分「ザ・2020ビジョン」については、これまで兄貴と共にセミナーを行ってききましたが、2月26日には「ザ・2020ビジョン」単独セミナーを行います。更に3月・4月は5周年記念フォーラムやこどもトラストセミナーを予定しています。HPやメルマガ等で順次お伝えいたします。どうぞお楽しみに！

マーケティング部長 中澤 泰彦

■ お客さまの声

セミナー参加者からのコモンズへいただいたメッセージをご紹介します。



参加セミナー：「コモンズ30ファンド」と新ファンド「ザ・2020ビジョン」新春セミナー

投資についての視野を広げていただきました。

非常に大きな気付きをいただきました！



良い話、率直な考え方、哲学などをお伺いできて楽しかったです。来て良かった！



参加セミナー：はじめてのコモンズ



非常に分かりやすいご説明で、初心者の方でも投資信託全体の仕組み、コモンズ30について理解することができました。まだまだ金融全般について勉強することは多いのですが、引き続き頑張ります。



先日はセミナーにて資産形成、運用や投信の歴史等わかりやすく教えて頂き、有難うございました。全く知識がなかったにもかかわらず、グラフや数字を板書頂き、理解ができました。セミナーを受けてから新聞記事でわからなかった金融欄に親しみを抱けるようになりました。貴社商材を筆頭にトライアンドエラーしながら金融について学んでいきたいと考えております。不明点あれば、セミナー申込を通じてなど御質問できれば幸いです。社会起業家と連携したセミナーにはとても興味がございます。今後とも、よろしくお願いします。

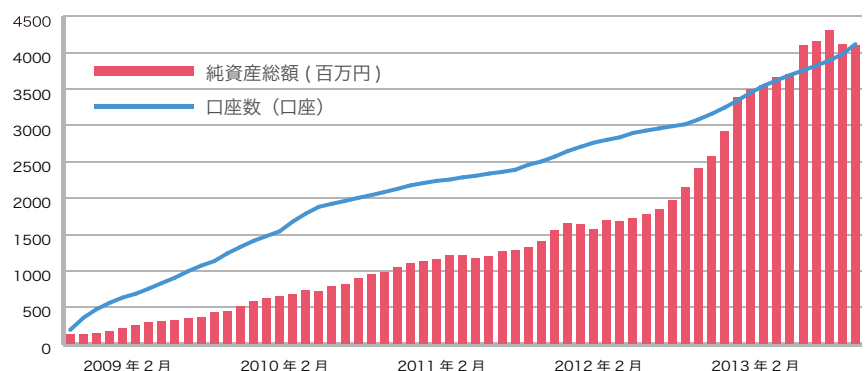
■ お客さまのデータ

(2014年1月31日付)

顧客数	4115人 (+138)
うち積立	2634人 (+4)

()内は前月比

■ 口座数と純資産総額の推移



コモンズ流投資判断

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 30%を超える現金比率についても、投資委員会で判断
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長
渋谷 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(1%~5%) ・現金比率の決定(30%以下の場合)
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



未来コンセプトについて

当ファンド独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年 1.2075% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の 0.105% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成21年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■メール

commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階